

函館市交通事業経営ビジョン進行管理

函館市交通事業経営ビジョン進行管理全体総括(令和2年度まで)

令和2年度は、軌道改良工事や停留場の改良工事、2両の車体改良などの建設改良のほか、電車広告料金について車体広告の割引制度の見直しを行いました。また、年度を通して新型コロナウイルス感染症による深刻な影響を受け、乗車人員が減少し、乗車料金収入は、財政計画を下回る結果となりました。

新型コロナウイルス感染症への対応につきましては、車両および各施設の定期的な消毒や運転席付近への飛沫防止板を設置するなど感染予防対策を実施するとともに、電車の運行を継続させるための体制を構築しました。

また、ホームページ上で車内混雑状況を公表するなど、感染防止のための広報活動を実施しました。

これまでの取り組み(平成29年度～令和2年度)につきましては、軌道や電路の改良、停留場へのスロープ設置のほか、事故防止に係る研修や訓練を行うなど、安全性の向上に向けた取り組みを進めました。

また、1両の超低床車両を導入し、10両の車体改良を実施したほか、乗務員への接遇研修の実施やICカードの活用を図るなど、快適性や利便性の向上へ向けた取り組みを進めました。

地域に対する取り組みにつきましては、車体広告についてガイドラインの見直しに着手しました。

効率的な組織づくりの取り組みとしては、交通部事業課および電車乗務員養成所における職員数の見直しを行いました。

財政計画につきましては、累積財源残額が計画を下回る結果となりました。

これらのことから、令和2年度までの交通事業経営ビジョンにつきましては、財政面で計画を下回るなど、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けた状況となっております。

基本方針および施策目標の取り組み状況

上段: 評価件数 下段: 割合

基本方針および施策目標		「B」評価以上	「A」評価	「B」評価	「C」評価	「D」評価	計
1 安全で信頼できる公共交通	(1)安全性の向上	4	0	4	0	0	4
	計	4	0	4	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
2 利便で快適な輸送サービスの提供	(1)快適性の向上	2	0	2	0	0	2
	(2)利便性の向上	5	0	5	0	0	5
	計	7	0	7	0	0	7
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
3 まちや地域への貢献	(1)地域社会への貢献	3	0	3	0	0	3
	計	3	0	3	0	0	3
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
4 経営基盤の強化	(1)収益力の向上	2	0	2	0	0	2
	(2)経営の効率化	2	0	2	0	0	2
	計	4	0	4	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	100%
合計		18	0	18	0	0	18
		100%	0%	100%	0%	0%	100%

A : 完了した・計画を上回っている
B : 概ね計画どおりに進んでいる

C : 計画を下回っている
D : 著しく計画を下回っている